

～精神疾患は三大疾患の一つ～
こころの健康推進をわが国の基本政策に



こころの健康政策構想実現会議



2012年 6月 8日 第34号

100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市
見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館
100万人署名推進委員会
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894
E-mail cocoro-syomei@mbf.nifty.com
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

みんなの想いを、みんなで国会へ！ ～72万筆署名提出の熱い1日～

「こころの健康基本法の法制化を求める国会請願署名72万筆提出集会」



2010年5月にまとめ上げたこころの健康政策構想会議の提言ですが、その実現を求め「こころの健康基本法」の制定を求める国会請願署名活動を続けてきました。2012年6月6日(水)、「こころの健康基本法の法制化を求める国会請願署名72万筆提出集会」を衆議院第2議員会館多目的室で開催し、請願署名を衆参両院の議員各位に手渡すことになりました。提出集会は、この間ともに法の制定を求めてきた団体が連なって「こころの健康基本法の法制化を求める市民の会」を組織し、開催しました。全国から参集した230名を超える当事者、家族、支援者などで会場は埋め尽くされました。また国会開会中のなか、多数の国会議員

の方々が参加され、法制定の必要性に言及する議員の発言が続き、会場は熱気に包まれ、基本法制定への期待の高まりとともに大きな一歩を踏み出した日となりました。

国会請願署名提出集会は次のような次第で進められ、11時45分から13時15分までの2時間は、非常に充実した時間であり、また非常に短く感じられた時間でもありました。

1. 開会挨拶
2. こころの健康基本法の法制化を求める全国運動についてのご報告
3. 議員のご挨拶（議連会長および参加議員の皆様）
4. こころの健康基本法の法制化を求める当事者・家族・市民の声
 - 1) 全国精神保健福祉会連合会
 - 2) 全国引きこもりKHJ 西東京親の会
 - 3) 全国精神障害者団体連合会
 - 4) 愛知県精神障害者家族連合会
 - 5) 全日本断酒連盟
 - 6) ダルク女性ハウス
 - 7) やどかりの里メンバー
 - 8) 京都精神保健福祉推進家族会連合会
 - 9) 芦屋メンタルサポートセンター
5. 閉会挨拶



この集会の様子を、当事者の立場でこの基本法の提言構想の初期から関わってこられた当事者・家族委員の黒川常治さんから早々にご投稿をいただきましたので、ご紹介をかねこの集会の報告とさせていただきます。



「提出集会」の会場は、まさに圧巻だった。会場前方に積み上げられた72万筆超の署名と、会場にあふれんばかりの全国から来てくれた仲間たち。たくさんの想いが集結した会場に、普段は存在感のある国会議員の先生方たちも、そのパワーには驚かれたことだろう。

熱気あふれる会場で、定刻より肅々とセレモニーは始まった。超党派でつくられた議員連盟の代表・衆議院議員石毛鏡子先生の心強い挨拶を皮切りに、会場に訪れた議員の方々の挨拶を、決意として捉えたい想いで僕は聴いていた。

先生方の挨拶の後、家族会の方々から、この署名を提出する想い、「このころの健康基本法」法制化の必要性が語られた。家族ということで支援し続けなければいけない過酷さ、そして家族にも支援が必要であること、救いの手が差し伸べられなければいけないとの熱い訴えがあった。続いて当事者からも、背負ってしまった苦境、実体験、みんなにわかってほしい「心の病になってしまったときの大変さ」が訴えられた。非常に辛い想いを長期間抱え苦しんだメッセージは、会場中で共有できたと思う。それでも戦う途中起きた、「救い」となる出来事があったとスピーチがあると、自然と拍手が沸き、盛大になり、みんなが勇気をもった瞬間だったと思う。そして会場はものすごいパワーにあふれていったのである。

セレモニーの後は、署名の紹介議員になっていただきたいとお願いをするため、議員の部屋へ署名用紙を持っていく時間となった。昼の時間が間に挟まれたにもかかわらず、セレモニーの勢いは留まることを知らず、たくさんの仲間が「届けるぞ！」と集まっていた。もはや、そこに肩書きはなかった。守らなければいけないルールをみんなで確認し、主に訪問先議員へは地域重視で署名を分担し持参した。

そして、「分厚い」署名用紙と「ぶ熱い」想いを持って議員の部屋をノックした。だが、なにせ72万筆超の署名である。それはそれは大変である。なかには、いろいろな事情で受け取ることが出来ない議員もいる。それでも怯まず、みんなは議員会館を上へ下へまた東へ西へと廻って交渉し、お願いしてきたのである。それは、夕方遅くまで続いた。

法整備になると、これからまだまだ道のりはあるが、歴史的な日であったと思う。純粋な市民運動から始まり、そして広がり、その数が膨大になっても決して特定の組織の運動にならず、国民運動としてこの日を迎えたのである。比較的初期からご一緒させていただいた僕は、願いはあれど、この日を容易に想像はできなかった。具体的に何をどうするのかなかなかイメージはできなかった。しかし、初期の頃と変わらない想いが変わることなく、しかし凄まじい力となり、国の代表に届けられたことは、嬉しいことであり、感謝の気持ちでいっぱいである。それは当事者としてとか支援者としてとかでなく、いち日本で生活している市民として。

そして、忘れられない思い出を2点追記する。いろいろな事情があり、署名はできないけど活動に応援してまずと言ってくれた方がたくさんいたこと。街頭署名の時、偶然通りかかり同じ苦労をしつつも今までどこにも相談できずにいて、そこで「青空相談」が始まったこと。まさに、この国の抱えている現状を現し、この運動の重要性を象徴する出来事だ。

本当に心から、この国に暮らす全ての人のこのころの健康が守られ、救われることを今でも望んでいる。

黒川常治



この提出集会の様子は下記のメディアでも紹介されました。下記のサイトで閲覧可能です

朝日新聞：<http://www.asahi.com/health/news/TKY201206070397.html>

日本テレビ：<http://news24.jp/nnn/movie/news89037557.html>

読売テレビ：<http://www.ytv.co.jp/press/society/TI20077125.html>